

殿馬場中だより

生徒のみなさんへ

堺市立殿馬場中学校
令和3年6月2日
第2号
校長 茶谷 佳行

緊急事態宣言が延長され依然厳しい状況が続いています！

令和3年度重点目標 めざす生徒像

「のびる（豊かな知恵・知識を学び）、つくる（自己の創造的な思考を表現する）、つながる（他者とつながること）の往還をめざし、主体性を育成する」

1号でも書きましたが、4月当初は、「今年こそは、例年通りに学校の教育活動ができるだろう」と期待していました。ところが、なかなか状況は改善せず、6月20日まで緊急事態宣言が延長される事態となりました。さらに英国型やインド型など新たな変異株が広がり、若年層にも感染のリスクが大きくなっています。

最近、大阪の感染者数は徐々に減ってきますが、医療体制のひっ迫がまだまだ続いているようで改善にはしばらく時間がかかりそうです。

以上のように緊急事態宣言の発令期間が長くなっています。気を緩めず、学校においても手洗い、マスク、密接をさけるなどの対応をしっかりとお願いします。

学校生活については、4月後半に緊急事態宣言が発令されたこともあって、多くの行事が延期されています。1年生の部活動も開始できていませんし、校外学習、修学旅行、体育大会などの大きな行事も実施できず、延期となっています。このような状況が長く続き、生徒のみなさんに対して、心苦しく思っています。1日でも早く緊急事態宣言が解除されて、普段通りの学校生活が送れるように願っています。（部活動については、6月から活動制限が緩和されました。）

さて、今日は今年度の学校教育重点目標について説明します。本来であれば、5月の当初に行う予定でしたが、集会ができず、ひと月遅れてしまいました。

今年は、中学校において教科書が新しくなり、新しい学習内容がスタートするという事で、私たち教職員は、これからの時代に求められる学力を習得できるように、昨年度末に「令和3年度の教育重点目標」を決めました。

時代の変化が速くなり、グローバル化やAIなどの新しいテクノロジーが広がる中で、これまでの知識を覚えるだけの学力では、新しい社会に対応できないということが言われています。そして、考えることや判断すること、表現することがこれまで以上に必要になってきました。現実の社会には、問題が山積しており、簡単に答えが見いだせない問題に意欲的に取り組み、解決をめざす能力が必要となっています。つまり自らが主体的に問題に取り組むことが重視されるようになりました。

そのような状況を踏まえて議論した結果、今年の目標を「のびる（豊かな知恵・知識を学び）、つ

殿馬場中学校の目指す子ども像

主体的に行動する子



のびる子



続けることができる力
前向きな力
好奇心旺盛な力
自信を持つ力
人の話を聞ける力
挑戦できる力

つくる子



計画を立てられる力
目標を持つ力
表現する力
考えることができる力
個性を発揮する力
想像・創造する力

つながる子



コミュニケーション力
リーダーシップ
人と協力する力
人に信頼される力
人に共感できる力
助けを求められる力

くる（自己の創造的な思考を表現する）、つながる（他者とつながること）の往還をめざし、主体性を育成する」としました。

この目標をみなさんにも理解してもらうために、めざす生徒像として示してみます。上に示した図にあるように、主体的に行動することを柱として、「〇〇力」としてまとめています。

たとえば今直面している「コロナウイルスの問題」では、単にウイルスに関する知識があるだけでは解決できません。知識をもったうえで、感染を防ぐためにどんな計画を立てるのか、国民の自粛をどのように進めるか、飲食店に対する支援をどうするか、ワクチン接種を素早く広げるにはどうするのかなど、たくさんの方がつながりながら問題解決に取り組んでいます。にもかかわらず、なかなか簡単には解決できない難問です。ただ、多くの方があきらめずに挑戦し、さらなる計画を立て、協力しながら取り組んでいるから前に進んでいるのです。まさに正解のない大きな問題です。

もう少し教科書に近い例で、問題を示すと、

【問題】

もしあなたがザビエルのように知らない土地に行って、土地の人々に何かを広めようとする場合、どのようなことをしますか。600字以内で答えなさい。（「2020年からの新しい学力」石川一郎著より）

この問題を解くためには、もちろんザビエルに関する知識が必要です。ただ、この問題は知識で終わるのではなく、そこから思考力・判断力・表現力といった能力を問うており、正解のない難問です。実際に会社では、海外で工場を作ったり、国内でも新しい店を広げたりしています。社会に出ればそんな力が求められています。

つまり、みなさんにとって知識は欠かせないが、それ以上に「考える力」が重要だから、考えたり、誰かとつながったりすることができる殿中生を育むために、教育重点目標を立てました。

生徒のみなさんにも、私たちの目標を知ってもらうことで、達成に近づきたいと考えています。